

公益社団法人日本造園学会九州支部研究・事例報告集 投稿・執筆要領

公益社団法人日本造園学会九州支部事務局

1. 投稿資格 著者のうちいずれかが日本造園学会会員であることを条件とする。なお申し込み時点で会員がいない時は、原稿締切日において会員登録手続き中である者がいれば良い。なお共著の場合は、筆頭著者が口頭発表、もしくはポスター発表を行うものとする。
2. 原稿の取り扱い 本報告集は審査論文集ではなく、投稿原稿は全て掲載することを原則とする。但し、「5. 執筆要領」を大きく逸脱したもの、内容が本報告集に相応しくないと事務局が判断したものについては、投稿者に連絡の上、掲載を断る場合がある。ポスター発表の場合も報告集に掲載するため冊子用原稿を4. 原稿の送付及び5. 執筆要領に従い提出する。
3. 費用の負担 掲載料として、1編あたり3,240円を著者が負担するものとする。但し、支部長から執筆依頼を受けたものは掲載料不要とする。掲載料は、筆頭著者名で原稿提出締切日までに下記に振込むものとする。

株式会社西日本シティ銀行 大橋支店 普通 1476809 公益社団法人日本造園学会九州支部事務局 代表 包清博之

4. 原稿の送付 原稿は、デジタルデータ(Word形式)のみで受け付ける。2019年2月17日(日)の18時までに、研究・事例報告集の原稿(A4判2頁)を、必ず、6. の学術データ(投稿整理票)とともに提出すること。学術データ(投稿整理票)がない場合には、受理しないことがある。なお、原稿のファイルサイズはできるだけ軽くし、一般的ではないフォントを使用する場合はPDFファイルを合わせて提出すること(文字化け確認のため)。なお原稿の保存の際は、「読み取り専用」にしたり「編集の制限」をかけたりにしないこと。

提出ファイル名：「口頭発表 発表者氏名」、もしくは「ポスター発表 発表者氏名」とすること。 送付メールの件名：「造園学会九州支部大会 投稿データ提出」とすること。 提出アドレス：gakujutsu@qzouen.jp ←@を1つ削除、

5. 執筆要領
 - 1) 投稿1編についての刷り上り頁数は2頁とする。原稿は、1ページ目上部の「タイトルおよび著者名」とページ番号を調整するのみで、原則としてその他は提出データをそのまま印刷する。なお書式の統一上、必要となる編集を行うことがある。
 - 2) 出版物の統一感と品格を保つために、以下の各事項を遵守すること。(ひな形も参照のこと)
 - ・和文で、A4判横書き2段組、1段24文字、48行とする。
 - ・余白は上30mm、下25mm、左・右21mm、段間6～7mmとする。
 - ・本文の文字は、9.5ポイント、図表中の文字は原則7～9.5ポイント。縮小印刷した図表を貼り付ける場合も、刷り上がりがこの程度になるようにする。
 - ・本文の文字は明朝体。小見出し、図題、表題はゴシック体。図表中の文字種は自由。
 - ・1ページ目は、タイトル・著者名に5行分を使用する。2ページ目に大きな余白が出ないように努めることとし、2ページ目が48行に満たない場合は左段、右段が同じ位置、または1行ずれて納めることとする。
6. 学術データの提出 (投稿整理票) 本部の学会広報及び支部のデータストックとして、下記の事項を、九州支部HP上にある投稿整理票をダウンロードして記載の上、4. の原稿とともに締切日(2019年2月17日(日)の18時)までに九州支部事務局(gakujutsu@qzouen.jp←@を1つ削除)に必ず提出すること。投稿整理票には、タイトル〔和文・英文両方〕, 所属〔和文〕, 氏名〔和文〕, 要旨〔300文字以内;和文〕, キーワード〔5語以内;和文〕を記載すること。

原稿送付、掲載料、学術データの締切は、2019年2月17日(日)です。